

寺報

龍正寺

日なた 168号

現世
安穩

日
延



<令和 4年 5月>

宝龍会
護持会

住職一言 (仏様の教)

妙法蓮華經如來壽量品第十六

『われ佛を得てよりこのかたへたるところの諸の劫數無量百千萬億載阿僧祇なり常に法をといて無教億の衆生を教化して佛道に入らしむしかしよりこのかた無量劫なり衆生を度せんがためのゆえに方便して涅槃を現すしかも實には滅度せず常にここに住して法をとくわれ常にここに住すれども諸の神通力をもつて顛倒の衆生をして近しといえどもしかも見ざらしむ』

(解説) 自分が仏となってからこの方というものは教え切れないうちが年月である。無量百千万億載阿僧祇劫である。その大昔より常に教を説いて、教え切れないうちがたさんの者を教化して仏道に入らせた。すなわち仏と同じ働きをする者としたのである。そうしてそのながい年月の間いくどもいくども世にでて、いろいろな方法をもって非常に多くの者に教を説いた。そしてある年月の間教を説けば皆にほんとうの感化をあたえたので、方便力をもつて涅槃をあらわした。

真に滅度したのではない。人の眼にうつたところだけのことであって、仏は常に娑婆世界に住んでいて教を説いているのである。されば

人生のいろいろなでき事の中に仏を求めることもできる。またそれらの変化もみな仏の説であるといえるのである。そう悟れば「仏の教」というものが至るところに「め」されているということに気がつくのである。仏はいつもこの娑婆に「いるけれども、心がみくりにかえっている世の中の人には（顛倒の衆生）仏さまの近くにいっても、仏は見えない。心が顛倒している者は自分を中心として物を考えるので。慈悲の念は持たないのである。人々にたいして仏に仕えるという心もちもたないのである。人間はともに教えあい、ともに戒めあい、ともに住んで生きてゆかぬばならぬ。その本性を忘れては仏は見えないのである。

合掌

自我傷を2、3回に分けて寺報目な本に書きたいと思っております。

参考資料は妙法蓮華経略義 鈴木修学先生の本より書き写して

いただき、皆様のご世を願っています。

拝読下さいますよう、心から願っています。

南無妙法蓮華経 三唱

新緑

また4月の初めには美しく桜が咲き
乱れたのしみに待つ桜の頃に心よるに
ますがもう今は新緑の頃が訪れて
参りました 早い早季節の移り変わりも
大宇宙大自然真理のおかげさまの中で目
やしくふり注いでくはず 新緑のあややかな
緑が金さ金さと光っているようです

わたくしが龍正寺さまへご縁がいただけ
ましたのが令和元年3月にございまして。

お正人さまがお声をかけていただきました椅子と
お味すからどうぞお入り下さいとおっしゃて下さり

お言葉に甘えさせていただきましたことが今は
何よりのよるにびでございまして

ご先祖さまへの追善供養 彼岸供養

花まつり 施餓鬼 供養 などのご供養の時には

丁寧な御供物が美しく供之いたします そして

ご丁寧な読経などが有り難く心に届きます

わたくしは感動の涙でございます 尊いご縁が

いただきました中でのよるこびです

そして又尊いご法話のおかげさまより実践が何より

大事であることを学びます

わたくしも充分ではございませんが少しづつでもし

思い実践を心がけております わからないことが

ありますとお正人さまにお尋ねを致します

その疑念より 気づきなどで心の思いの成長より

信仰心も深まってゆくのではと思ってみます

次から次といろんなことが起こりうる昨今の

ようでございます テレビのニュースより心が切なく痛みます

知床の遊覧船の事故も船長さんが何かにつけて

だらしない人であったことを話されました

海には字があるそうです

海を見つめて 風や潮がどんなメッセージを出しているかを 読みとくのたそうです

人さんのお言葉に耳をオさなかつた人

経験が浅さかつた人 船の手入れとてきてない

アンテナも故障とかたそうです... それらのこと柄

の中より思いました 宗教の道しるべ 八正道の

学びの中に有ようです 常に心を整えて正しい

思いより正しく生きてゆく 生き方くらし方の大切さ

が何より 何より大事であることに気づきます!!

心よりの尊いお題目を唱えまして 何事もなく

よき日の一日によるごの御礼を申し上げます

いただきますよう 尊い法々経にお導きを

いただいております 今によるごいっばいで

ございます ありがとうございます

南無妙法蓮華経

合掌

「聴く耳を持つ」

NHKのテレビで徳川家康の子育て術「神君御文」を紐解きながら家康がどのようなことを考えて我が子を育てたかを放送していました。

わがままに育った長男信康に大いに小悩まされた家康は、二代将軍となる秀忠の子育てには慎重だった。

秀忠には、どんな相手でも聴く姿勢をもてと意識させ育てました。

2代将軍を決める時も、家康は周りの意見を聴き決めていました。

秀忠は、将軍になるには物足りない感じがあったのですが、時代は戦乱の世が終り平安な時代への移り変わりの時、力だけでなく、どんな相手でも聴く姿勢をもち、コミュニケーション等のスキルがないと成り立たないと家康はわかっていたので秀忠に大切な事を時間をかけて教えていきました。

結果として家臣が納得して秀忠を将軍に決めたという背景がありました。

ゲストの方の話も実に良かった。

『聞くという字は「聞く」と「聴く」があり「聴く」は徳という字が入ってますね。聴く耳をもつということは徳

に繋がりませぬ。」

『子供は弁解を聴いてもらえると安心する。そうすると人の話が聞ける』

『そうか、親が聴く耳を持たないといけませんね』

自分が聴く耳をもたないと大事な意見・話が入らず、人生の行き先を見間違えてしまう可能性があるなと思って見ていました。

ちょうど、この内容を見てから仕事に行きました。

仕事中、あまりの小せしさにパニックになり思考が停止。しかけていた時に周りのスタッフが「うした方がいい、これを聞きましたか、1つ1つ片付けていけばいいんじゃないですか」と言ってくれて我に戻る事ができました。

皆の意見と助けがあったからこそ、小せしさを乗り越れたと心底思いました。

私が私がと思っていたら皆の意見も耳に入らず、1人で右往左往したただけであったと思っていました。

聴く耳を持つことの大切さを感じた日でした。

明日を生きる知恵・学び・喜び

心が重くなったら時に、必ず読み返す本があります。「日蓮に学ぶ、明日を生きる知恵」

初めて手にしてから… 20年ほどになると思います。当時は、タイトルに「日蓮」を目にするこゝろすぐ買って読んでいました。

しかし全く意味もわからず、“そーなんだ!!”とその様に思う事で、わかった、信心していると思っていました。頭で考える事と、心の中は決して同じにはなりません。何故？感情との葛藤、自問自答の中で学べば学ぶほど苦しくなりました。

御住職に“無心になり、御題目を唱えてござんなさい。”と言われました。“無心”これがまた難問でした。

何度も繰り返してあふれてくる、自己中心的な感情。
「私は間違っていないのに…何故私がこんなに苦しむのか？何故相手を変える事ではなく、私が変わらなくてはいけないのか？」

困惑しながら、先の見えない日々でした。ひとつ悩みが解決しても次々と起ってくる出来事に「人生は苦しい」と思う事もありました。

徐々に「日蓮に学ぶ明日を生きる知恵」を読んできました。

以前と全く違った思いが湧きました。「うん!! そうなんだ、まずはやってみよう!!」という強い気持ちになりました。

それは背中をポンと押して頂けたような思いでした。

御題目を唱えた!! 無心に南無妙法蓮華經と大きな声を出している自分に驚きました。

今でも悩み事は尽きませんが、御題目を唱え、日蓮大聖人の学び(お教え)も受ける事で、心穏やかに自分自身をみつめ(自己覚知)る事が出来る。そして新たな知恵が湧き上がってきます。

日々の難問は心の成長。この出来事を楽しみそして喜びにしていく力。これこそが法華經のたいなる力だと思えます。

— 自分の成長を楽しむ —

新学期が始まり1ヶ月が経ちました。新生活にも少しづつ慣れてきたに負ではないてしょうか?!

Xジャリーグの大谷翔平選手は、誰もが知っているスターですよね! CMで流れている大谷選手の言葉が胸に刺さりました。

「一番楽しいのは自分が成長できたこと実感する日。その日を楽しみにやっています。その時うまいかはそれ程大事ではなく、その先どれだけうまくなるか? 今に自分はセーフではない。今負けていても、この先勝っていけばいい。」

我が家の長男はサッカーをやっています。最近試合の出場時間が少なくなり、応援する親以上に本人は苦しい思いをしていることと、思います。そんな時だからこそ、この大谷選手の言葉が心に残ったのだと思います。

小柄な息子に私が出来る事は食事のサポート。サッカーの戦術のこととは分からないので、本

やネットで調べて、少しでも息子のセントにたはれよ"と
思いますが、チームの方針もあり、役立っているかは
わかりません。

人生において無駄な経験などない。試練
は乗り越えられるから与えられる。言葉では分
かっているも、自分が苦しい立場におかれると、人の
せいにしてしまったり不平不満が出てしまいます。

大谷選手のように日々向上心を忘れず先のこと
に目を向ければ"心"が変わってくるような気が
します。息子も今の経験がなかったら、いつか
天狗になってしまうかもしれない。そうならないため
にも、今の経験が必要。そして、何とかうまく
なるために色々考え行動する努力は、必ず
将来に繋がります。有難いことに、一緒に練習
する仲間とはとても仲が良く、楽しくサッカーを
させてもらっています。それだけでも息子は護ら
れていると実感できます。自分の成長を
楽しめるような息子に成長してほしいです♡
そして、私もそうありたいです!!

< 5月の行事予定 >

5月13日(金) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
伊豆法難会
大古久尊天祈願会

18日(水) 10:00~ 鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神

< 5月住職の予定 >

5月9日(月) 10日(火)

身延へ

5月18日(水)

午後寺院総会 中津川へ

< 5月の予定 >

5月6日(金)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
12日(木)		
13日(金)	法要後	片付け. 準備
14日(土)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
17日(火)		